

令和元年8月1日に思う

「都市にはない豊かな暮らしを築くこと」をめざして、あらためて人口問題に真摯に向き合いたいと思います。ついては「村の暮らしの実態」を把握するための調査やワークショップを実施し、現在の人口水準で長期にわたり安定させるための具体的な施策を見い出したいと考えています。

今年2月「地域おこし協力隊活動報告会」に講師としてお招きした藤山浩先生(一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所長)は「川上村が近年、人口安定に向けて大きく前進している」と評価されました。そのうえで「人口分析の結果を踏まえ、地域資源を組み合わせながら地域内経済循環に取り組む必要がある」と指摘されました。その成功例として「かわかみらいふ」は高い評価をいただいています。本調査は、これらのことを受けて同先生の指導と協力のもと実施するものです。

調査は「未来に続く川上村の底力と持続可能性を確かめる」と題され、家計調査で「暮らしの現状と今後の生活設計」を、底力調査で「村の基本的な経済循環と持続可能性」を分析します。そしてワークショップで“川上村の底力”をみんなで確かめ、共有します。併せて医療や介護についても分析を行う予定です。大変な作業ではありますが、しっかりと取り組みます。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

今日も、こまめに水分補給を!!